

新型コロナウイルス感染拡大防止対応

2022年度学生リーグ <水球競技>

実施にあたっての感染症対策の観点における注意事項

競技会実施の目安

プール施設が使用可能であること

身体的距離を保てる適切な人数での競技会実施が可能な段階もしくは、制限なく競技会が可能な段階
都道府県をまたいで移動の制限がない段階

宿泊を伴う全国大会が可能な段階

競技会への参加条件（以下の条件を満たしている選手、監督・コーチ、競技役員とする）

同居家族や職場の同僚等、身近な方に感染者が出た者および感染が疑われる者は参加できない。

2週間風邪などの諸症状（発熱・乾いたせき・倦怠感・のどの痛み・頭痛・下痢・味覚や嗅覚の異常など）がみられないこと

入場者の健康管理の実施（2週間前からの健康チェック表提出）

入館時の検温実施

等 日本水泳連盟『水泳競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン』に遵守

部内に感染者が出た場合

①所属する大学のガイドラインに従い、部活動停止となる場合は再開後から試合に参加。

②部活動停止にならない場合は、PCR検査を受け陰性証明ができた者に限り参加を認める。

大会開催にあたり

大会は無観客とする

入場人数制限を設ける＊（詳細は次ページ参照）

開会式は行わない

観客席は選手控え場所とし、ソーシャルディスタンスを守って間隔をあけて使用する

会場内では常時マスクを着用とし、大声での応援や指示を禁止とする

選手の入場は試合開始1時間前・退場は試合終了後1時間以内とし、会場内は常に試合チームとアップチームの4チームのみとする

試合間隔を開けアップ時間やベンチ消毒のための十分な時間を取る（アップタイムを確保する）

更衣室、ベンチ、競技役員テーブル、招集所においても間隔をひろく取り3密にならない対応とする

更衣室等プール施設利用については各施設の使用規定に遵守する

退館後 2週間以内に「新型コロナウイルス感染症を発症した」場合は、競技会担当者に対して陽性者の情報及び濃厚接触者の有無等について報告すること

以上

新型コロナウイルス感染拡大防止対応

各会場ごとの入場人数及び注意事項について

●日本体育大学健志台会場

【メンバー13名+監督・コーチ3名+セクレタリー3名+マネージャー/その他関係者4名】

計23名入場可

ただし、その他関係者4名を明確にする必要がある。例)メンバー補欠・マネージャーなど
なお、その他関係者4名について観戦を目的とするものは入場不可

*駐車場利用可（申請した車輛のみ）

*待機場所は現在確認中

●早稲田大学所沢会場

【メンバー13名+監督・コーチ3名+セクレタリー3名+マネージャー/その他関係者4名】

計23名入場可

*駐車場利用可（申請した車輛のみ）

*試合間の待機場所は101号館の部屋（部屋詳細は確認中）

●成蹊大学会場

【メンバー13名+監督・コーチ3名+セクレタリー3名+マネージャー/その他関係者4名】

計23名入場可

*駐車場利用可（申請した車輛のみ、各チーム1台まで）

*試合間プール及びキャンパス内での待機は禁止

●国土館大学世田谷会場

チームメイトの人数については制限なし（ADカードの配布なし）

チーム該当試合のみ観戦可。保護者の観戦は不可。

*車での来校禁止

*試合間の待機場所はB1観覧席

また、試合間に近くのコンビニや建物内にあるデイリーのイートインスペースに行くのは禁止

●慶應義塾大学日吉会場

【メンバー13名+監督・コーチ3名+チーム関係者もしくは保護者で上限20名まで】

計36名入場可

⇒上記36名のうち、観戦を目的としていないチーム関係者（マネージャー、メディカルスタッフ等）は、選手とともにプールサイドに入ることができる。

観戦を目的とした入場者は観客席のみ立ち入り可とする。

また、すべてのチームは自チームの試合中に限り上記規定にかかわらず部員の観戦可能

（現役部員/チーム指導者に限る）⇒ADカードの配布無し

なお、保護者の入場は最大20名まで

*駐車場利用不可

*試合間の待機場所は観客席（更衣場所）